

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第6区分

【発行日】平成29年1月19日(2017.1.19)

【公開番号】特開2015-217951(P2015-217951A)

【公開日】平成27年12月7日(2015.12.7)

【年通号数】公開・登録公報2015-076

【出願番号】特願2014-100704(P2014-100704)

【国際特許分類】

B 6 5 B	55/10	(2006.01)
B 6 5 B	55/04	(2006.01)
B 6 5 B	55/08	(2006.01)
A 6 1 L	2/08	(2006.01)
A 6 1 L	2/20	(2006.01)
A 6 1 L	2/22	(2006.01)

【F I】

B 6 5 B	55/10	E
B 6 5 B	55/04	N
B 6 5 B	55/08	B
A 6 1 L	2/08	
A 6 1 L	2/20	Z
A 6 1 L	2/22	

【手続補正書】

【提出日】平成28年12月2日(2016.12.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

容器を搬送する容器搬送手段と、搬送される容器に電子線を照射する電子線照射手段とを備えた容器殺菌装置において、

前記容器搬送手段の電子線照射位置よりも搬送方向下流側に配置され、搬送される容器の内部に殺菌剤を噴霧する殺菌剤噴霧手段を設けたことを特徴とする容器殺菌装置。

【請求項2】

前記殺菌剤噴霧手段による殺菌剤噴霧位置を搬送される容器の周囲を覆うカバーと、このカバー内から排気する排気手段とを備えたことを特徴とする請求項1に記載の容器殺菌装置。

【請求項3】

前記殺菌剤噴霧手段の殺菌剤噴霧位置よりも搬送方向下流側に配置され、搬送される容器の内部に無菌気体を供給する気体供給手段と、この気体供給手段により供給する気体を加熱する加熱手段とを備えたことを特徴とする請求項1または請求項2に記載の容器殺菌装置。

【請求項4】

前記容器殺菌装置の作動を制御する制御手段を備え、この制御手段は、前記電子線照射手段と前記殺菌剤噴霧手段により容器を殺菌する第1殺菌モードと、電子線照射手段のみで容器を殺菌する第2殺菌モードとを備えており、

第2殺菌モードでは、前記加熱手段で加熱せずに前記気体供給手段から容器の内部に無

菌気体を供給することを特徴とする請求項 3 に記載の容器殺菌装置。

【請求項 5】

搬送される容器の外面に電子線を照射した後で、容器の内部に殺菌剤を噴霧し、その後、容器の内部に加熱した無菌気体を供給して殺菌成分を除去することを特徴とする容器殺菌方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

また、第 4 の発明は、前記第 3 の発明において、前記容器殺菌装置の作動を制御する制御手段を備え、この制御手段は、前記電子線照射手段と前記殺菌剤噴霧手段により容器を殺菌する第 1 殺菌モードと、電子線照射手段のみで容器を殺菌する第 2 殺菌モードとを備えており、第 2 殺菌モードでは、前記加熱手段で加熱せずに前記気体供給手段から容器の内部に無菌気体を供給することを特徴とするものである。